



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 ムーンバット株式会社

コード番号 8115 URL <http://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・会長兼社長執行役員 (氏名) 中村 卓司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・執行役員 管理本部長 (氏名) 山田 隆二

TEL 075-361-0381

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,596	△2.2	116	△65.9	257	△41.8	131	△47.4
27年3月期第3四半期	9,807	△8.4	343	△52.1	441	△44.9	249	△46.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 45百万円 (△89.0%) 27年3月期第3四半期 414百万円 (△15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	26.45	—
27年3月期第3四半期	50.26	—

当社は平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	11,734	8,042	68.5	1,619.59
27年3月期	11,941	8,121	68.0	1,635.24

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 8,042百万円 27年3月期 8,121百万円

当社は平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産金額を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、平成28年3月期の配当の状況につきましては当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	△2.7	240	△49.3	380	△40.9	210	△47.5	42.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、平成28年3月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	5,341,733 株	27年3月期	5,341,733 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	376,120 株	27年3月期	375,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	4,966,232 株	27年3月期3Q	4,967,288 株

当社は平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、輸出企業を中心に企業収益の改善が見られましたが、中国経済の成長率鈍化等による景気後退の懸念が高まり足踏みの状態にあります。個人消費につきましては、インバウンド需要による押し上げ効果もあり、全国百貨店の売上高が4月以降7カ月連続で前年を上回るなど、回復の兆しが見られました。しかしながら、円安に伴う輸入物価の上昇、実質賃金の伸び悩み等もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同四半期比2.2%減の95億96百万円となりました。その主な要因は次のとおりです。雨傘の販売につきましては、秋シーズンも好調に推移し、期間を通して降雨に恵まれたこともあり好調に推移いたしました。パラソルの販売につきましては、梅雨入り後に動きが鈍り、その後の天候不順等の影響を受け低調な推移となりました。洋品の販売につきましては、秋冬シーズンの温暖な気候の影響から低調な推移となりました。帽子の販売につきましても、秋冬物が不振であり、春夏シーズン同様低調な推移となりました。

損益面では、生産地・生産国のシフト及び生産方法の見直し等によるコスト削減に取り組んでおりますが、海外生産における人件費・原材料の高騰や円安等による輸入コストアップ分をカバーするには至らず、差引売上総利益率が前年同四半期比2.0ポイント下落いたしました。減収による押し下げ要因と共に、利益率の下落により差引売上総利益額は前年同四半期比2億81百万円減少し、前年同四半期比7.1%減の36億87百万円となりました。販売費及び一般管理費を前年同四半期比55百万円削減いたしました。差引売上総利益額の落ち込みをカバーできず、営業利益は前年同四半期比65.9%減の1億16百万円となりました。経常利益につきましては、営業外収益で為替差益を1億27百万円計上いたしましたものの、前年同四半期比41.8%減の2億57百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比47.4%減の1億31百万円となりました。

また、当社グループでは、「Made in Japanプロジェクト」を発足し、当社130年の歴史の過程で積み重ねられたものづくりのノウハウを使って開発した上質な国産品の国内消費者及びインバウンド需要向け提案を「月装」ブランドにて開始しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億7百万円減少して117億34百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が8億7百万円増加したこと、借地権が3億77百万円増加したこと、敷金及び保証金が7億82百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が7億80百万円減少したこと、及び為替予約資産が1億24百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ1億27百万円減少して36億91百万円となりました。この主な要因は、返品調整引当金が3億25百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が1億44百万円減少したこと、短期借入金が1億26百万円減少したこと、未払消費税等が1億15百万円減少したこと、及び長期借入金が50百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ79百万円減少して80億42百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1億31百万円計上したこと、剰余金の配当を1億24百万円実施したこと、及び繰延ヘッジ損益が79百万円減少したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきまして、現段階で入手可能な資料に基づき第3四半期以降の業績を検討した結果、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年2月5日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	916,470	1,050,342
受取手形及び売掛金	3,147,022	2,366,258
商品及び製品	3,084,031	3,034,424
仕掛品	3,232	4,825
原材料及び貯蔵品	38,170	60,368
その他	533,359	530,750
貸倒引当金	△24,000	△21,000
流動資産合計	7,698,286	7,025,970
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,346,069	2,346,069
その他(純額)	475,402	1,378,271
有形固定資産合計	2,821,471	3,724,340
無形固定資産		
のれん	60,834	51,228
その他	67,520	428,868
無形固定資産合計	128,354	480,097
投資その他の資産		
敷金及び保証金	992,713	210,316
その他	328,590	321,496
貸倒引当金	△28,336	△28,170
投資その他の資産合計	1,292,966	503,641
固定資産合計	4,242,793	4,708,078
資産合計	11,941,079	11,734,049
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	932,581	787,673
電子記録債務	488,068	513,060
短期借入金	976,000	850,000
未払法人税等	102,711	94,207
賞与引当金	75,705	41,890
返品調整引当金	195,700	521,300
その他	504,071	408,712
流動負債合計	3,274,838	3,216,844
固定負債		
長期借入金	50,000	—
退職給付に係る負債	341,621	341,656
その他	152,989	133,297
固定負債合計	544,611	474,953
負債合計	3,819,449	3,691,797

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,339,794	3,339,794
資本剰余金	1,041,407	1,041,407
利益剰余金	3,990,655	3,997,843
自己株式	△371,667	△372,645
株主資本合計	8,000,190	8,006,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,763	20,570
繰延ヘッジ損益	81,595	1,668
為替換算調整勘定	33,552	34,102
退職給付に係る調整累計額	△26,471	△20,489
その他の包括利益累計額合計	121,439	35,852
純資産合計	8,121,629	8,042,251
負債純資産合計	11,941,079	11,734,049

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	9,807,198	9,596,280
売上原価	5,506,787	5,582,944
売上総利益	4,300,411	4,013,335
返品調整引当金戻入額	171,600	195,700
返品調整引当金繰入額	502,600	521,300
差引売上総利益	3,969,411	3,687,735
販売費及び一般管理費	3,626,327	3,570,832
営業利益	343,083	116,903
営業外収益		
受取利息	1,397	958
受取配当金	2,206	3,927
為替差益	55,080	127,113
不動産賃貸料	14,546	16,022
貸倒引当金戻入額	1,166	3,166
売掛金回収差額	42,698	—
その他	6,077	4,829
営業外収益合計	123,173	156,017
営業外費用		
支払利息	6,922	7,379
支払手数料	9,375	3,595
その他	8,505	4,909
営業外費用合計	24,803	15,885
経常利益	441,453	257,036
特別損失		
役員退職慰労金	—	6,995
本社改装費用	—	6,635
特別損失合計	—	13,631
税金等調整前四半期純利益	441,453	243,405
法人税、住民税及び事業税	280,775	197,447
法人税等調整額	△88,996	△85,396
法人税等合計	191,779	112,051
四半期純利益	249,674	131,353
(内訳)		
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	249,674	131,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,434	△12,192
繰延ヘッジ損益	108,504	△79,926
為替換算調整勘定	20,041	549
退職給付に係る調整額	9,529	5,982
その他の包括利益合計	164,510	△85,587
四半期包括利益	414,184	45,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,184	45,766
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	衣服装飾品	身回り品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,987,888	7,819,310	9,807,198	—	9,807,198
計	1,987,888	7,819,310	9,807,198	—	9,807,198
セグメント利益	363,999	209,794	573,793	△230,710	343,083

(注) 1. セグメント利益の調整額△230,710千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	衣服装飾品	身回り品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,882,885	7,713,394	9,596,280	—	9,596,280
計	1,882,885	7,713,394	9,596,280	—	9,596,280
セグメント利益	283,860	51,476	335,336	△218,432	116,903

(注) 1. セグメント利益の調整額△218,432千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。